

巻頭言

2017(平成29)年4月に、文学研究科、国際言語文化研究科、国際開発研究科国際コミュニケーション専攻を統合再編し、名古屋大学大学院人文学研究科として発足してから、2年が過ぎました。旧文学研究科に設置されていた教育研究推進室も、人文学研究科の発足後もその組織は継続され、この2年間、様々な活動を行ってまいりました。大学院生に対する支援事業、研究科の教育・研究の支援に関わるワークショップ等の開催、日本学術振興会特別研究員の応募・採用の促進など、旧文学研究科でも行われていた教育研究活動の活性化に向けた取組に加え、これらの活動全般の評価に必要な各種データの収集、分析等も進めているところです。

特に、大学院生に対する支援事業としましては、「フィールド調査プロジェクト」及び「研究発表支援事業」の2種類があり、前者は、現場での調査や史資料の収集を幅広く含めた、広義のフィールドワーク調査を行う院生を対象として、後者は、国内外を問わず国際研究集会での発表を行う院生を対象として、主に旅費を支援することを企図した事業を展開しております。昨年度も、両事業を合わせて15名の大学院生がそれぞれの訪問先を訪れることができました。予算的に厳しい状況が続いておりますが、今後も身の丈に合った支援が継続できればと思います。

また、ワークショップ等の開催につきましては、旧文学研究科の頃と比較いたしますと、盛況というには程遠く、今後の展開を待たざるを得ません。しかし、昨年度は、統合再編を経て様々な分野の研究者が所属することとなったこの人文学研究科で、ヒトを対象とした研究における研究倫理体制の検討が進み、研究者同士の情報交換の場として「自己紹介の会」が開催されるなど、少しずつ活動が活発化していく兆しがみられているのではないかと期待しているところです。

2017年度の活動につきましては、「『年報』2017」にまとめ、昨年度刊行いたしました。今年度も2018年度の活動報告といたしまして、「『年報』2018」をここにお届けいたします。名古屋大学大学院人文学研究科の教育研究活動状況を広く皆様に知っていただくことで、ご理解をいただき、ご意見を仰ぐことができれば幸いです。

名古屋大学大学院人文学研究科教育研究推進室室長

池内 敏